



NOVA
- ノバ -

組立・取扱説明書



これからのエクステリアを考える タカノEX

この説明書は、NOVAを安全に組み立て、取り扱うためのものです。説明書に従って組み立ててください。万一、従わなかった場合、破損や怪我などの原因になる場合もあります。不明な点がありましたら、取扱店にご相談ください。



この警告/重要マークが付く説明内容には、特に注意を払ってください。ただし、このマニュアルのその他の説明が重要ではないということではありません。

重要

このマニュアルは今後、必要なときのために大切に保管してください。

< 安全のための重要な説明 >



以下の部分にご注意ください。

1. 説明

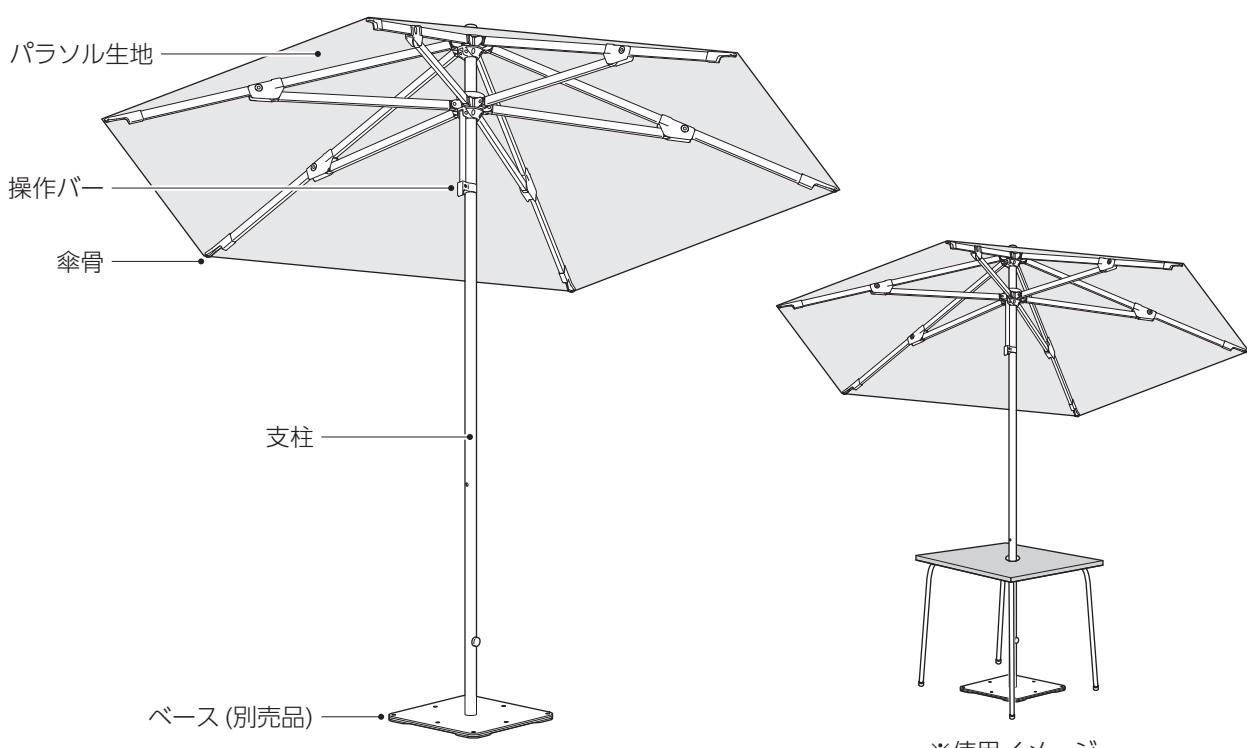
この説明内容をよくお読みになって施工してください。説明内容に沿って組み立て施工をされなかった場合、怪我や破損の原因になることがあります。ご使用に際しては、説明書をよく読んでください。

2. 警告

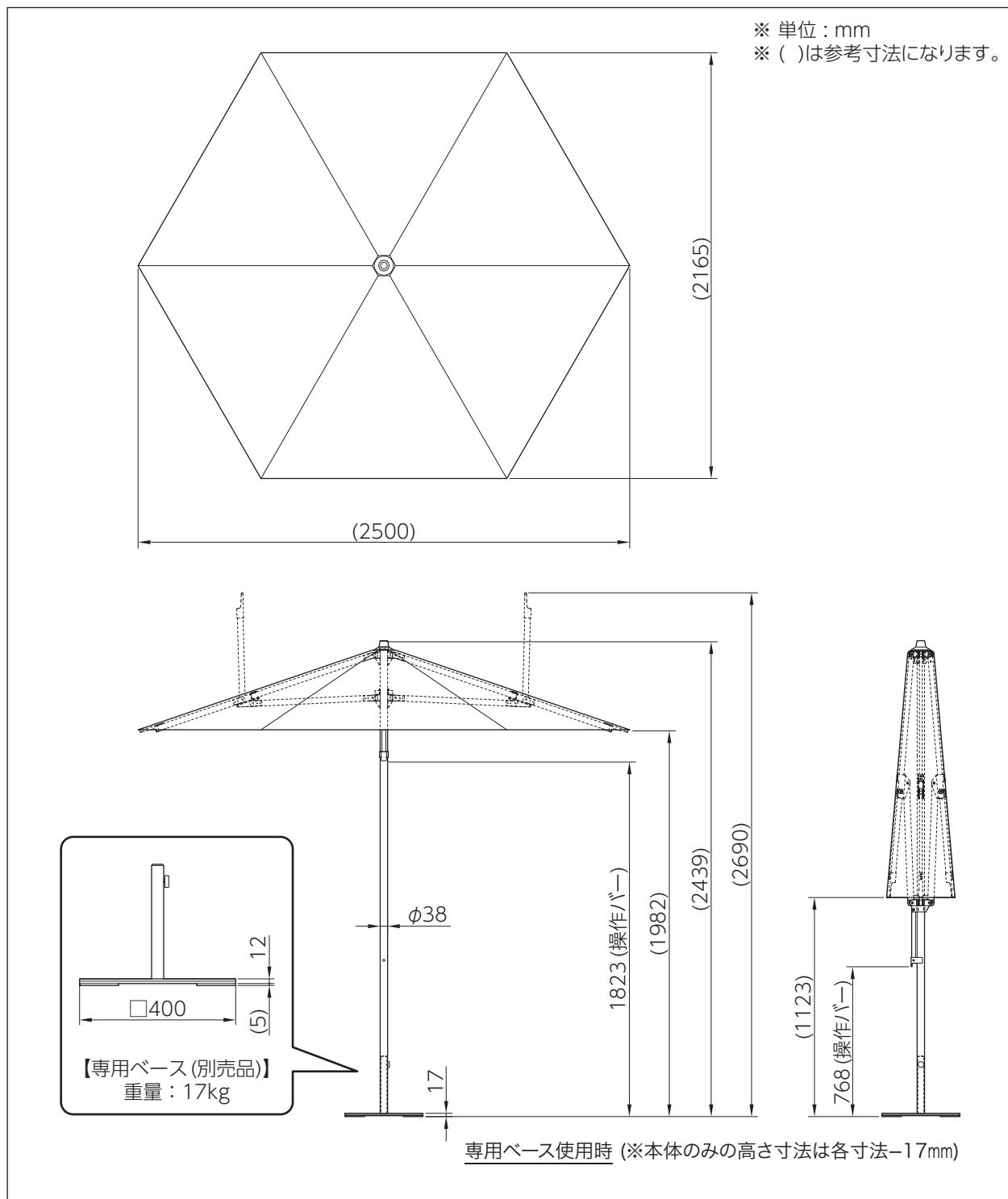
この商品は、悪天候のためのものではなく日除け用です。強風や雷雨、豪雨や雪のときは、パラソルを閉じてベースから取り外し保管してください。ベースは、平らで安定した所（例：コンクリート等）に設置をしてください。芝・土等、柔らかな所への設置は転倒の原因となります。

またご使用の際は、安全のためパラソル用テーブルとセットでご使用ください。

各部の名称



基本図(六角2500)

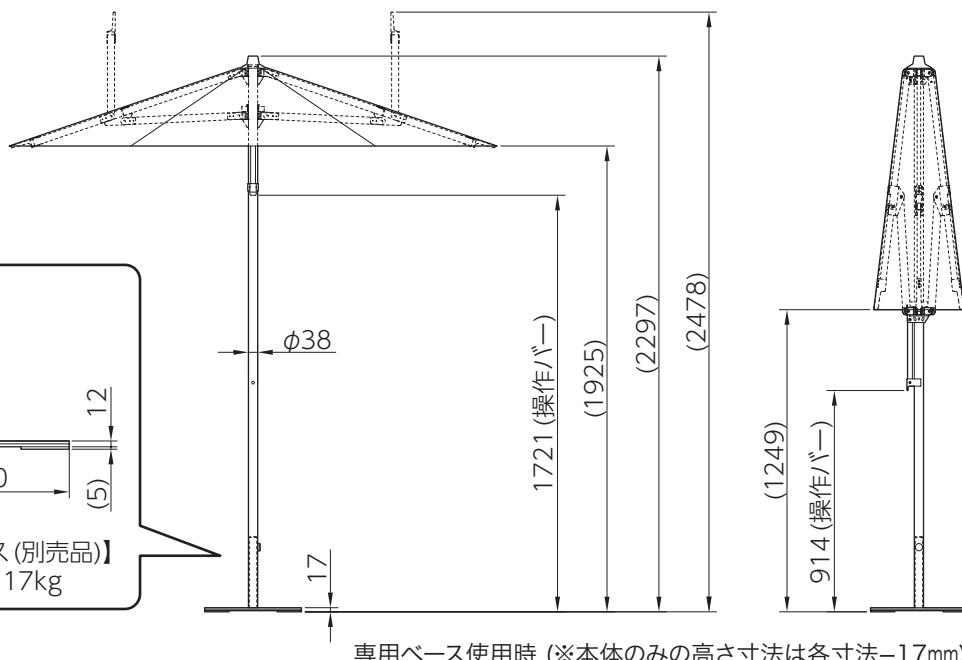
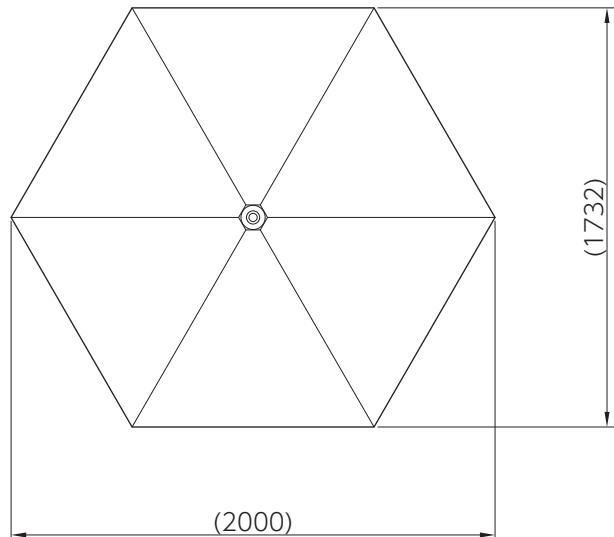


重要

- パラソルの上に構造物(軒下に設置の場合など)、電線類等がある場合、強風時に干渉するおそれがありますので、高さを確認の上ご使用ください。
- 安全のため、パラソル用テーブルとセットでご使用ください。
- パラソルの支柱径は $\phi 38$ です。テーブルは、支柱径にあったものをご使用ください。
- ベースは弊社製以外のものも使用可能ですが、支柱径($\phi 38$)に対応したベースをご使用ください。

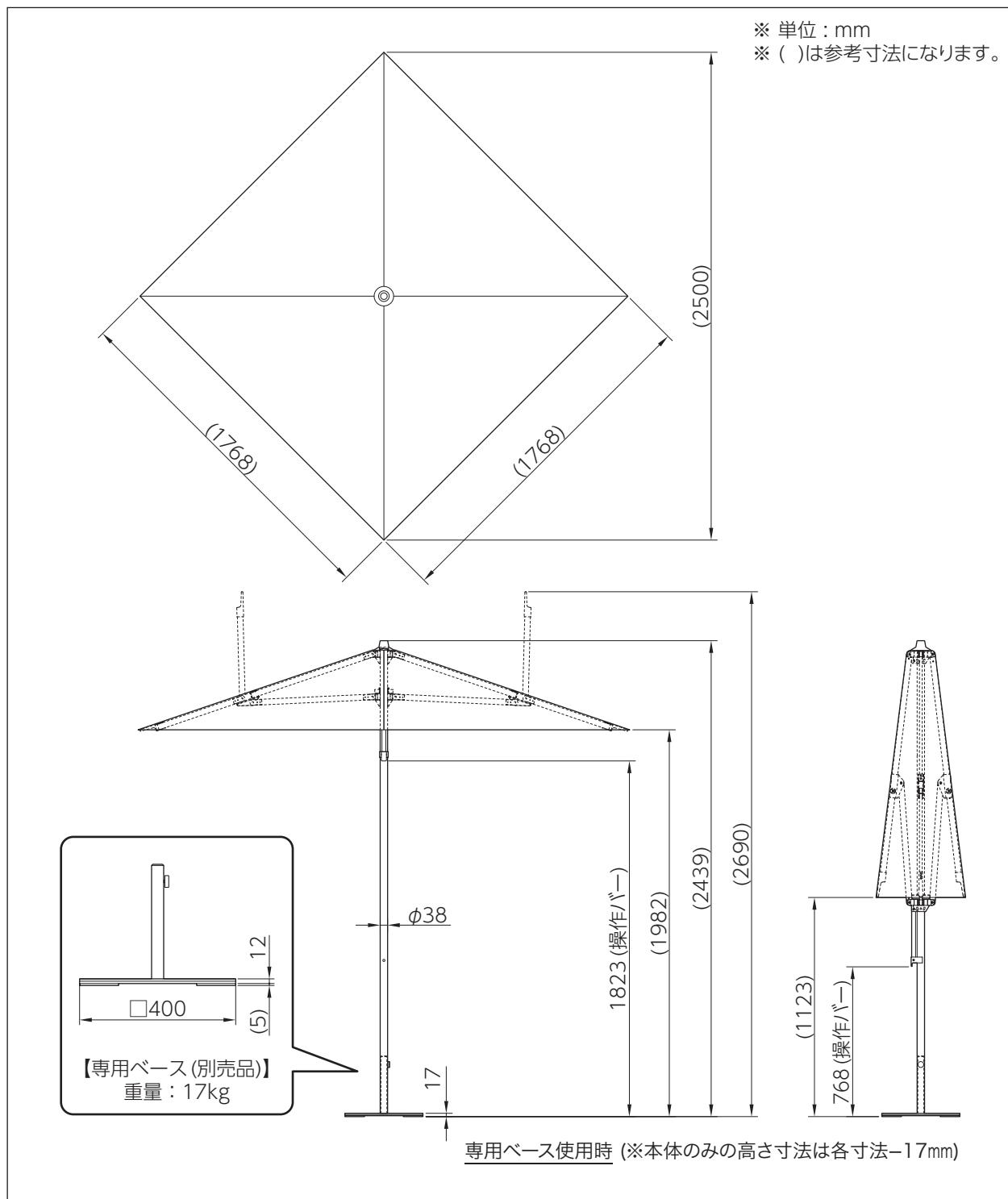
■ 基本図 (六角2000)

※ 単位 : mm
※ ()は参考寸法になります。



- パラソルの上に構造物(軒下に設置の場合など)、電線類等がある場合、強風時に干渉するおそれがありますので、高さを確認の上ご使用ください。
- 安全のため、パラソル用テーブルとセットでご使用ください。
- パラソルの支柱径はφ38です。テーブルは、支柱径にあったものをご使用ください。
- ベースは弊社製以外のものも使用可能ですが、支柱径(φ38)に対応したベースをご使用ください。

基本図 (スクエア1800)



- パラソルの上に構造物(軒下に設置の場合など)、電線類等がある場合、強風時に干渉するおそれがありますので、高さを確認の上ご使用ください。
- 安全のため、パラソル用テーブルとセットでご使用ください。
- パラソルの支柱径はφ38です。テーブルは、支柱径にあったものをご使用ください。
- ベースは弊社製以外のものも使用可能ですが、支柱径(φ38)に対応したベースをご使用ください。

梱包明細

梱包名称	梱包サイズ (mm)	梱包重量	数量
パラソル本体(六角2500)	240 x 200 x 2500	10kg	1
パラソル本体(六角2000)		9.5kg	1
パラソル本体(スクエア1800)		9kg	1
ベース	420 x 60 x 450	18kg	1

1. パラソル本体

No.	部品名称	略図	数量
1	パラソル本体 六角2500 六角2000 スクエア1800		1
2	収納ベルト		1
3	組立・取扱説明書		1

2. ベース (別売品)

No.	部品名称	略図	数量
1	ベース		1
2	支柱		1
3	サラネジ (M8x25)		1
4	ノブボルト (M6x16)		1
5	六角レンチ (5 mm)		1

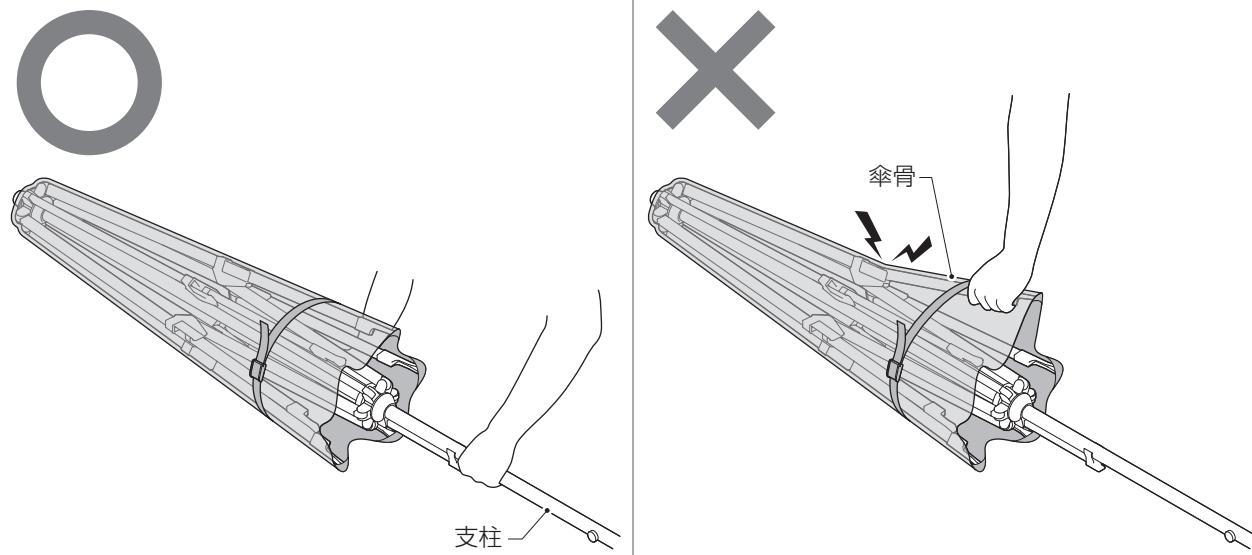
パラソルの取り扱いについて



- パラソル本体を持ち上げる際は、必ず支柱を持ってください。

傘骨だけを持ちますと、破損するおそれがあります。

重要



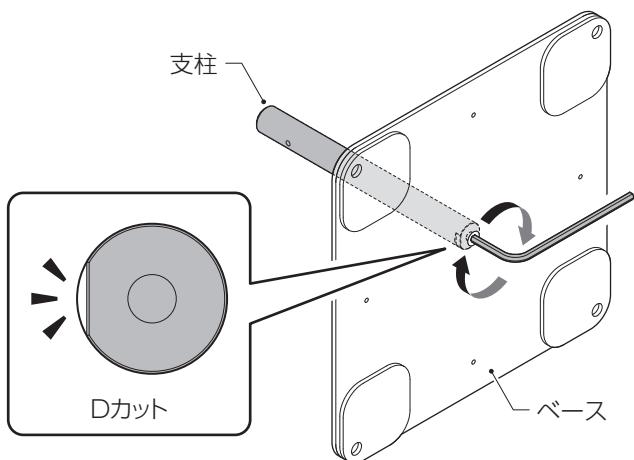
組み立て手順【別売品・ベースとセットの場合】

- ① ベースと支柱のDカット位置を合わせて、底面から支柱をサラネジ(M8x25)で、付属の六角レンチを使用してしっかりと固定します。



- ベースは重いため、取り扱いには十分注意してください。

重要

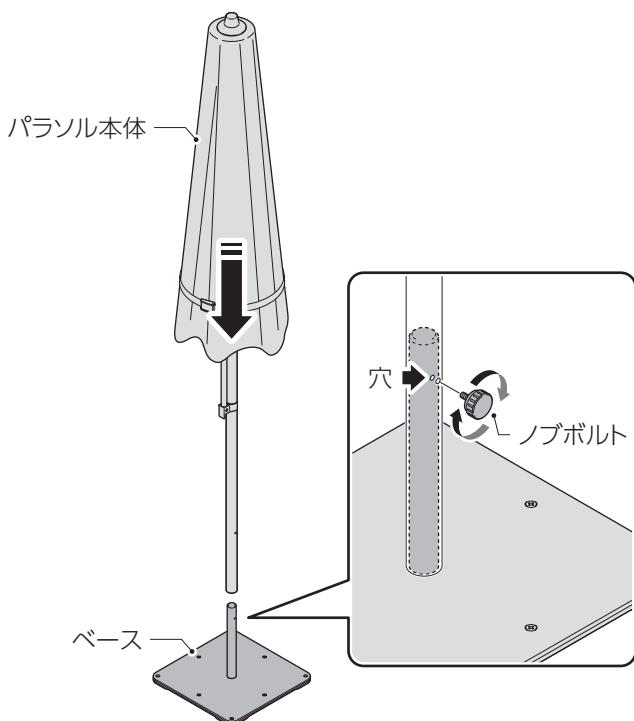


- ② パラソル本体を、ベースの支柱に差し込みます。



- パラソル本体の穴と、支柱の穴の位置とを合わせて差し込みます。

重要

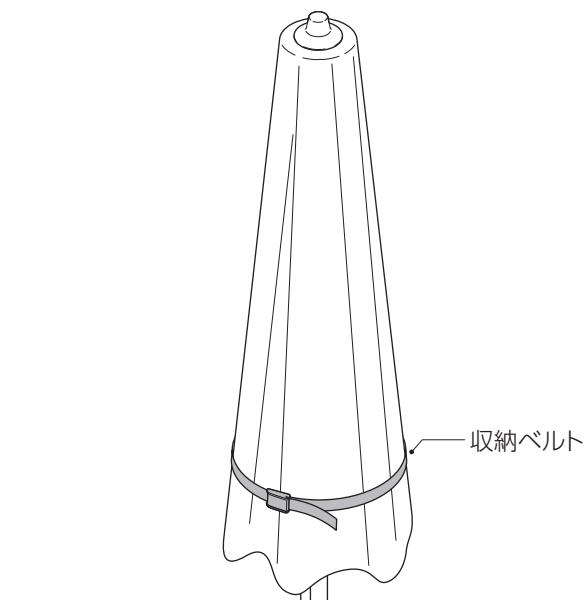
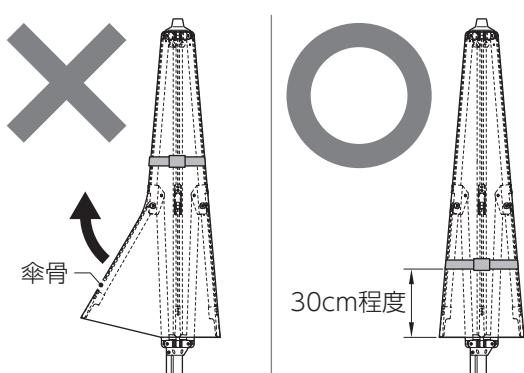


- ④ 収納ベルトを取り外します。



- パラソルを閉じた際は、必ず収納ベルトで固定してください。
- 収納ベルトは傘骨先端から30cm程度の位置で固定してください。
傘骨が動く位置で固定しますと、強風時やパラソルの設置・撤去など取り扱いの際に破損の原因となります。

重要

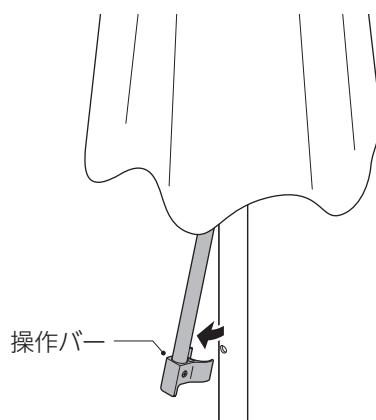


使用方法：パラソルの開き方（開梱時）

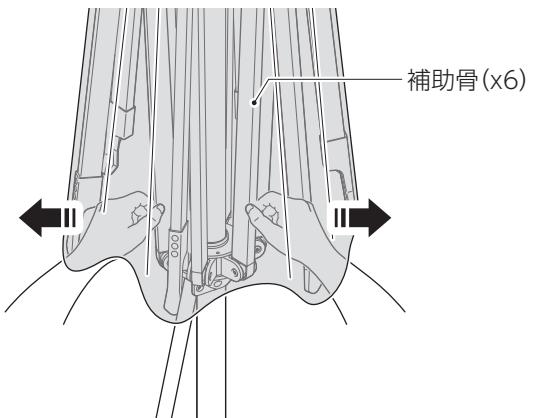
① 操作バーのロックを外します。



- 開梱時は、傘骨が閉じ過ぎているため開きません。操作バーで、無理に開かないでください。



② パラソルの補助骨6本すべてを、手で外側へ少し開きます。



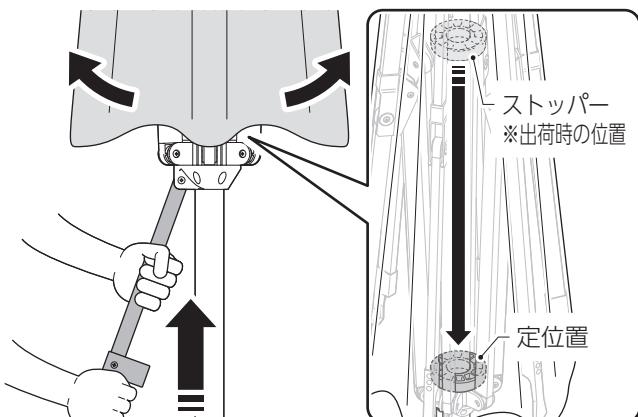
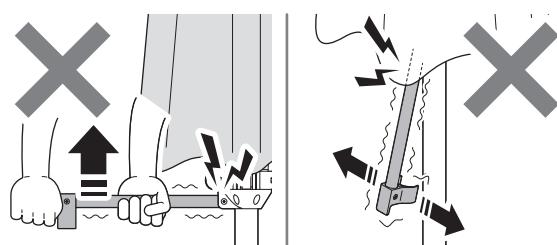
③ 操作バーを20°ほど開き、支柱に沿わせるように押し上げます。

④ パラソルが少し開くと、ストッパーが自然に落ちて、定位置に納まります。

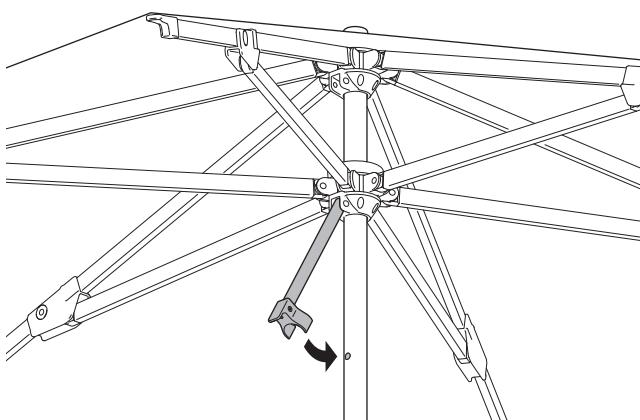
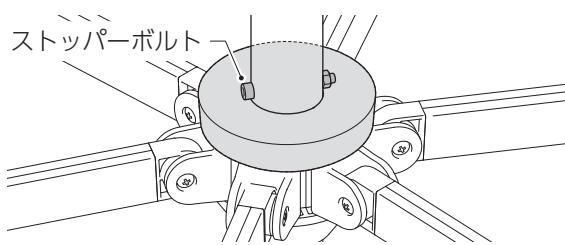


重要

- ストッパーは、傘骨が閉じ過ぎて開かなくなることを防ぐためのものです。
- 操作バーを90°以上開いた状態で、操作しないでください。また、横方向へ引っ張らないでください。破損の原因となります。

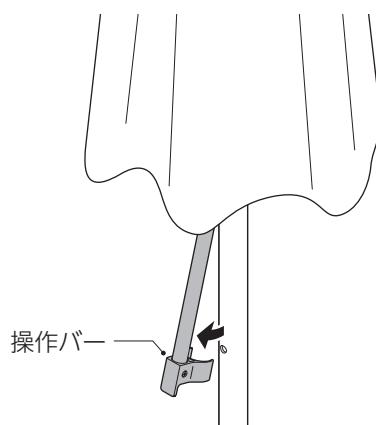


⑤ パラソルを支柱上部のストッパー bolt に当たるまで押し上げたら、操作バーの凸部を支柱の穴にはめてロックします。

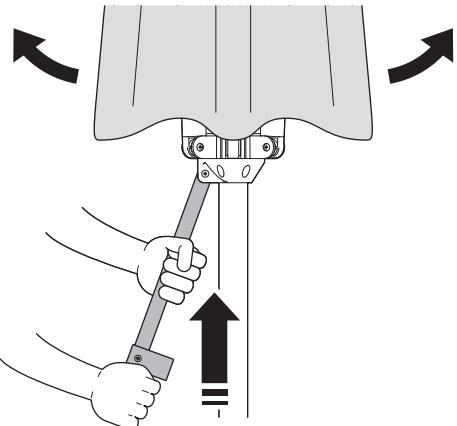


使用方法：パラソルの開閉操作（通常の操作）

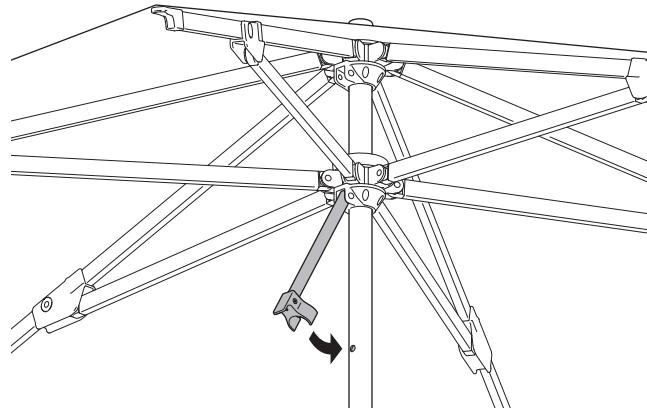
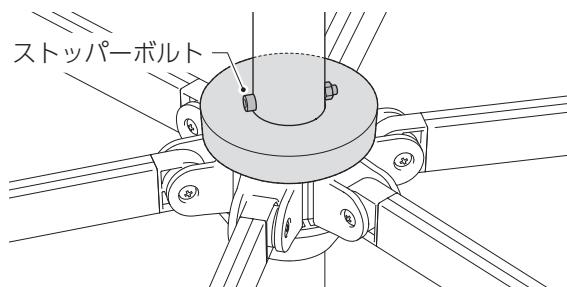
① 操作バーのロックを外します。



② 操作バーを20°ほど開き、支柱に沿わせるように押し上げます。



③ パラソルを支柱上部のストップボルトに当たるまで押し上げたら、操作バーの凸部を支柱の穴にはめてロックします。

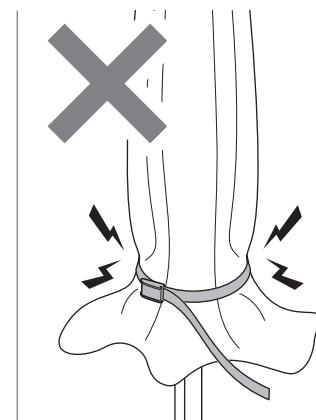
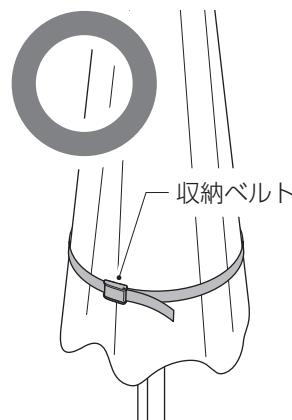


④ パラソルを閉じる場合は、逆の手順で閉じてください。



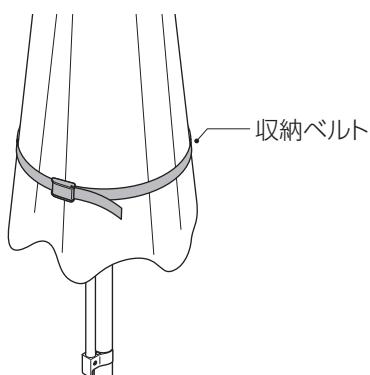
重要

- パラソルを閉じた際は、必ず収納ベルトで固定してください。
- 収納ベルトの締め過ぎに注意してください。破損の原因となります。

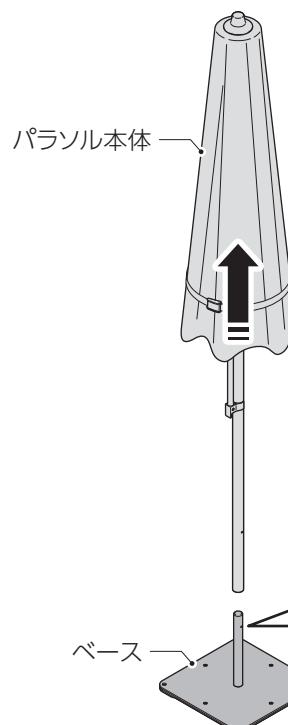


使用方法：パラソルの撤去

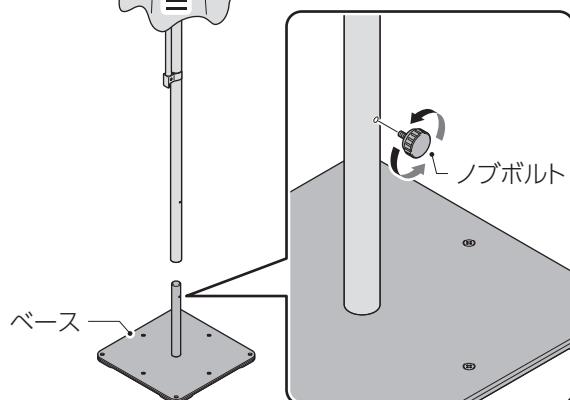
① パラソルを、収納ベルトで固定します。



② ノブボルトを外します。



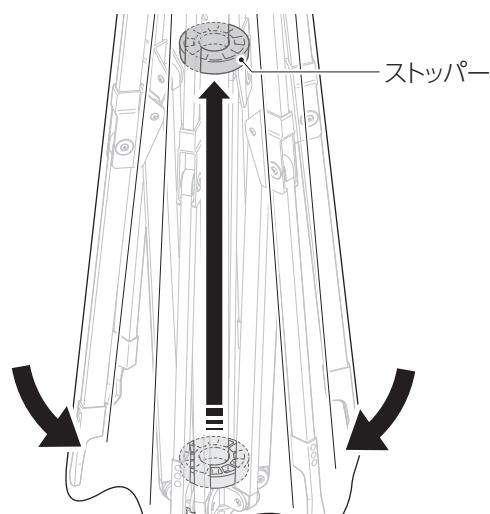
③ パラソル本体を持ち上げて、ベースの支柱から引き抜きます。



パラソルをコンパクトに収納したい場合は



重要
● 長期間保管する場合など、パラソルをコンパクトにたたみたい場合は、ストップバーを上部へスライドさせてから、パラソルを閉じてください。



使用方法：ベンチレーション機構について

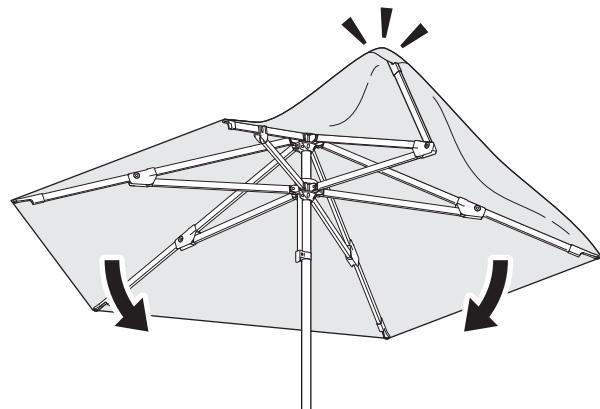
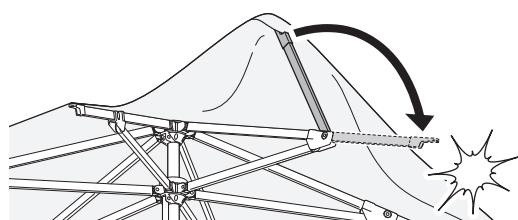
- この製品には安全対策として、強風時に風の力を逃がし、転倒・破損を防止するベンチレーション機構を搭載しています。傘骨が跳ね上がってしまった場合は、以下の手順で元に戻してください。

① パラソルを閉じます。



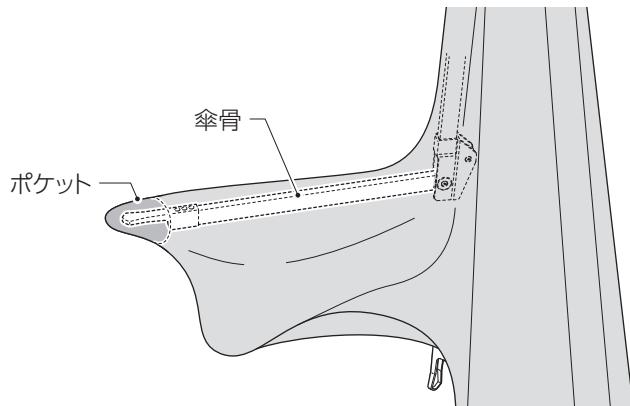
重要

- パラソルを閉じる際、傘骨に接触しないよう、十分に注意してください。跳ね上がった傘骨が元に戻り、頭部などに当たりけがをするおそれがあります。

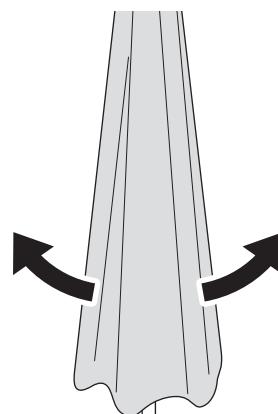


② 跳ね上がった傘骨を、元に戻します。

傘骨がパラソル生地のポケットから外れている場合は、傘骨を90°ほど曲げた状態で、ポケットに入れ直してください。



③ 再度、パラソルを開きます。



重要

- ベンチレーション機構は、パラソル用テーブルとセットでご使用の場合など、ある程度の支えがある安定した状態で有効な機能です。パラソルのみで使用される場合は、転倒を防ぐための安全対策を行ってください。

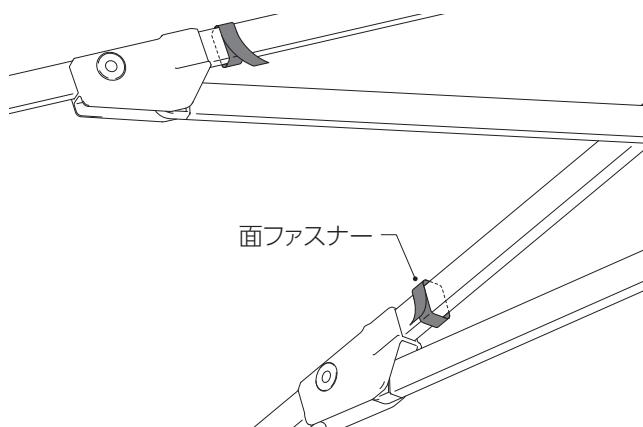


警告

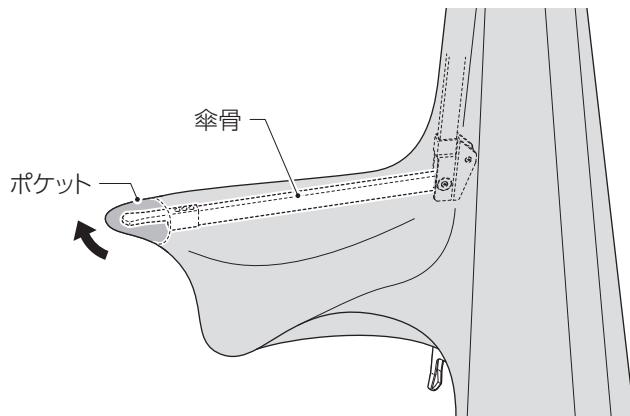
- この機能が作動するような強風時には、性能を上回る強風が吹くおそれがありますので、直ちに使用を中止してください。

メンテナンス：パラソル生地の交換

- ① パラソル生地を固定している、面ファスナー(6か所)を外します。



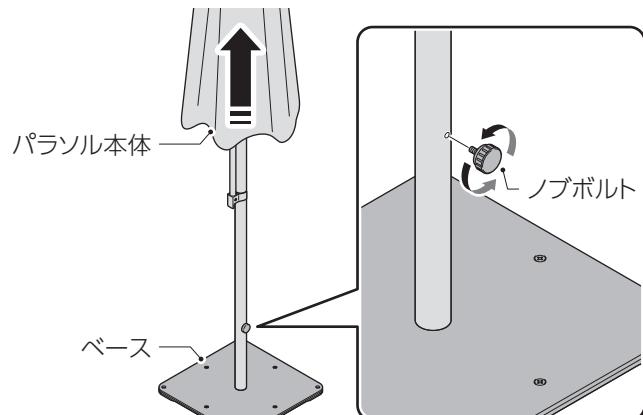
- ② パラソル生地のポケットから、傘骨(6か所)を外します。



- ③ ノブボルトを外し、パラソル本体を持ち上げて、ベースの支柱から引き抜きます。



● 右図のベースは、NOVA専用ベース
(別売品)を使用した場合です。



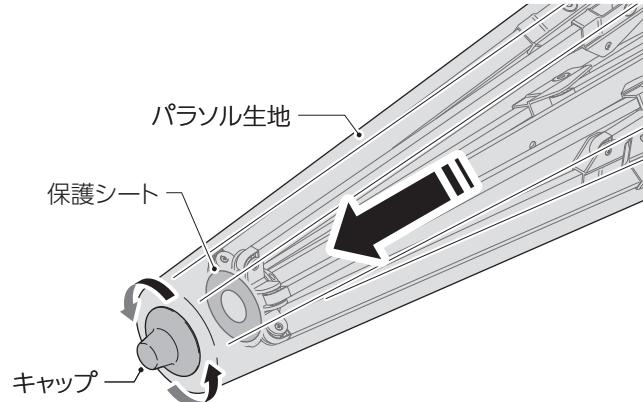
- ④ 本体上部のキャップを、反時計方向に回して外します。

- ⑤ パラソル本体から、パラソル生地を取り外します。

- ⑥ パラソル生地の取り付けは、逆の手順で取り付けてください。



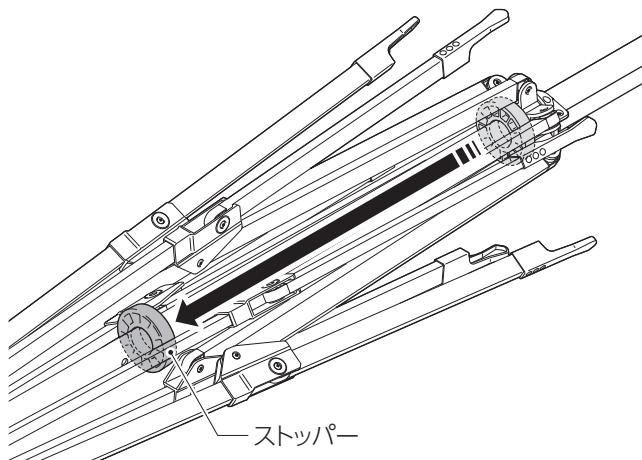
● 生地の交換後、パラソルがスムーズに開閉することを確認してください。



メンテナンス：傘骨の交換

① 前ページの【パラソル生地の交換】を参考に、
パラソル生地を取り外します。

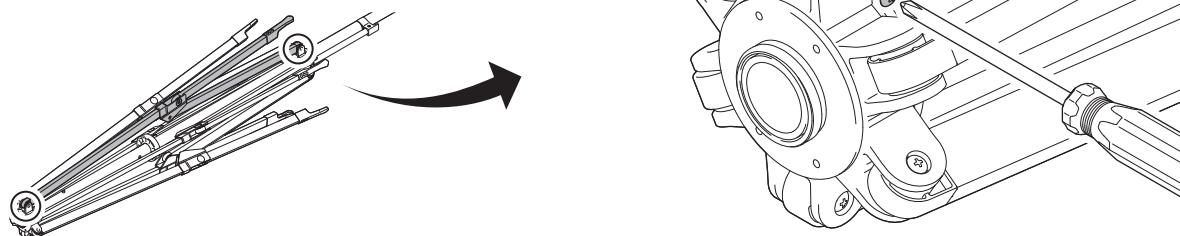
② ストップバーを、支柱の中ほどへ移動します。



③ 傘骨の接続部にあるネジを、2本のドライバーで
両側から緩めます。

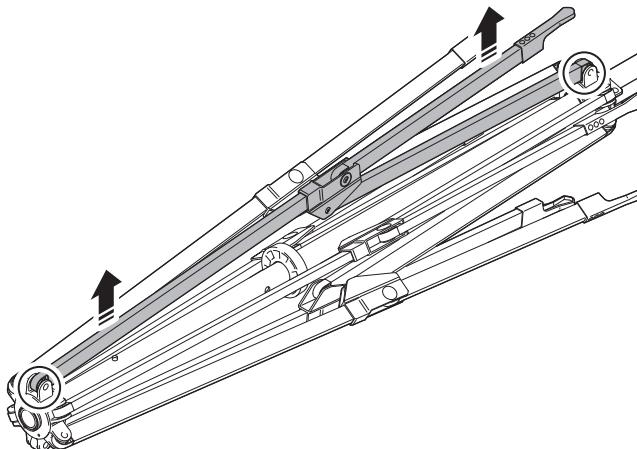
④ ネジを外して、軸ピンを抜き取ります。

⑤ 同様に、下側の軸ピンを抜き取ります。



⑥ 傘骨を取り外します。

⑦ 傘骨の組み立ては、逆の手順で取り付けてください。



メンテナンス：お手入れ

- 本製品は動くものです。いつまでも良い状態でご使用されるために、日頃から定期点検を行ってください。

【点検項目】

項目	お手入れ方法
各締結ボルト・ネジ類の緩みを確認	緩んでいた場合は、締め付け直してください。
本体フレームのお手入れ	ぬるま湯か薄めた台所用中性洗剤を浸した柔らかい布を、かたくしぼって汚れを拭き取ってください。
パラソル生地のお手入れ	<ol style="list-style-type: none"> 1. パラソル本体から生地を外します。 2. 生地は30°Cくらいのぬるま湯で、中性洗剤を使い、手洗いをします。 3. 生地を陰干しで乾かします。アイロンはかけないでください。 4. パラソル本体に、生地を再び取り付けます。

メンテナンス：季節終わりの撤去と保管方法

- 季節の終わりに撤去する際には、本体を濡らした布で拭いたあと乾かしてください。
- 塗装がはげた場合には補修してください。
- 長期間ご使用にならない場合は、乾燥した場所に保管してください。



重要

- 本体構造が、完全な状態かを確認してください。
部品の損傷を確認した場合には、必要な交換部品に関して販売店にお問い合わせください。
- 生地部のカビ・各金属部の錆による損害を防ぐためにも、濡れた状態、または湿ったまでの保管は避けてください。
- 長期間ご使用にならない場合は、「パラソルをコンパクトに収納したい場合は（P.9）」を参考に、コンパクトに収納した状態で保管してください。通常の収納状態ですと、保管状態によっては傘骨に負荷が掛かり、破損の原因となります。

アフターサービスについて

- アフターサービスのご依頼・ご相談は、お買い求めの販売店までご連絡ください。
- お取り扱い、またはお手入れが適当でないために生じた補修および部品交換などは、有償となる場合もありますのでご了承ください。
- 製品の改良のため、予告なく仕様を変更する場合がございますので、あらかじめご了承願います。

その他

- この商品は正しく取り付け・ご使用にならないと、大きな対物・人身事故につながるおそれがあります。取り付け・ご使用の際には、この説明書をよく読み正しく使用してください。
- この説明書に従わず、お客様の不注意による商品故障・事故につきましては、弊社は責任を負いかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

製品使用上の注意事項



- パラソルが凍結している場合には、溶けるまで待ってから操作してください。またゴミ等がある場合には、取り除いてください。
- パラソルに接触するような、火気の使用を行わないでください。火災の原因になります。
- 定期点検を行い、不具合箇所を発見した場合は、使用しないでください。
- 破損・不具合等により、本体構造が完全な状態でない場合は、使用しないでください。